

「フードドライブ ポスト」3店設置

バロー、関市に

家庭で消費しきれない食料品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設に届けるフードドライブ活動を進めようと、バローホールディングス(HD)と関市社会福祉協議会は、同市内のバロー3店舗に「フードドライブポスト」を設置した。

同社は、2022年から



関市内のバロー3店舗に設置されるフードドライブポスト＝同市緑ヶ丘、バロー緑ヶ丘店

フードドライブ活動を実施しており、これまで9府県の店舗にポストを設置してきた。県内では各務原、恵那、大垣市に続き4市目。

ポストに入れられるのは、未開封で常温保存ができて、賞味期限が1カ月以上残っている食料品で、缶詰やインスタント食品、飲料(アルコールを除く)、菓子などが対象。2週間に1回収し、関市子どもの居場所ネットワークに所属する子ども支援団体などに配られる。

ポストはバローの緑ヶ丘店、武芸川店、関ひがし店に置かれた。緑ヶ丘店で設置式が開かれ、同協議会の北瀬美幸会長が「ポストを存分に活用し、笑顔と絆を生み出していきたい」とあいさつ。バローHD管理本部の秋元武サステナビリティ推進室長は「ぜひ多くの方に気軽に利用していただきたい」と語った。

(桂川景)